

○長野縣信濃國上高井郡綿内村大字森

郷社

祭神 可美摩遲命

健南方刀美命

小内神

命

埴安

創立の年代を詳にせず、口碑に云ふ、聖武天皇天平九年越智泰澄の勅請する所なり、今綿内村の產土神たり、元綿内村宇宮王に鎮座せしを、永正元年二月今之の地に奉遷せり、而して本社は宇妙德山の山中にありて可美摩遲命の像を安置せりと云ふ、元越智神社と稱せり、蓋延喜式神名帳所載の社たるべし、神社彙錄に「越智神社祭神越智直祖歟、姓氏錄左京神別上 越智直、石上朝臣同祖、神饌速日之命之後也、神祇志料には「越智神社、舊址今綿内村越智山に在り、云々、光仁天皇天應元年十月己亥、信濃地一戸を以て神封に充しむ新鈔格」とあるものならんか、然るに寛延三年十月吉田家より同郡幸高村の神社に其號を授けしより、本社は更に小内神社の稱を許可せらるゝに至れり、(式内社に小内神社あれどそれとこれとは自ら別なり)、明治六年四月郷社に列す。

例祭日 八月廿六日
 指定年月日 明治四十一年十月廿七日
 指定年月日 告示第三百七十七號
 神饌幣帛料供進
 指定年月日 二百六十九戸
 氏子 戸數 二百六十九戸
 崇敬者員數 未詳

○長野縣信濃國上高井郡井上村大字井上字小坂

郷社

小坂神社

祭神 高角身神 合殿譽田別尊
 創立年代詳ならざれど、延喜式に高井郡小坂神社とある是なり、神名帳考證「小坂神社、今云小坂村、善光寺東四里、生根神、大八洲靈、大和國忍坂坐生根神社、日本紀神武云、男坂置男軍、倭姫命世記云、鈴鹿忍山、儀式帳云、鈴鹿小山宮、神社彙錄「小坂神社、小坂は乎佐加と訓べし、○祭神詳ならず、○小坂村に在す、大日本史志、小坂神社、今在井上傳言、天武帝時、遷祀大和男坂神」と、又神祇志料にも大日本地名辭書信濃國上高井郡井上之條にも、延喜式高井郡小坂神社は井上の小坂と字する地に存す云々見えたるゝに、信濃寶鑑「小坂神社、式内の郷社にして井上村小字小坂に鎮座し、高角身命と譽田命とを合祀せり、高角身命は大和國宇陀郡男坂神社の御分靈を勧請せしものなり、譽田別命は往古本村字下町に鎮座ありしを、乙葉三郎頼季なる人本社に合祀せしとぞ云々」と、傳へ云ふ神體は勅封と白布を以て巻きたるものなりと、明治六年四月郷社に列す、同四十年十二月字北町の若宮社、天神社、宇松田の伊勢社、宇藤山の山神社、同村の愛宕社、宇金口の大物主命、宇本誓寺の山神社、同村の飯繩社、字上町の道祖神社、字南町の荒神社等合併す。
 社殿は本殿、拜殿、祝詞殿等を具備じ、境内地千二十坪(官有地第一種)あり。

例祭日 九月十四日
 指定年月日 明治四十年十月廿七日
 指定年月日 告示第三百七十七號
 神饌幣帛料供進
 指定年月日 明治四十九年四月五日
 氏子 戸數 二百三十一戸
 崇敬者員數 未詳

○長野縣信濃國上高井郡須坂町大字須坂字芝宮